

みやざき 県議会の動き

No.102

4

2025

令和7年4月1日発行
宮崎県議会広報紙／年6回偶数月発行



2月定例会

2月定例会(当初予算の審査)の流れ

2月20日(開会日) 議案上程

知事から予算案が議長に提出され、本会議で議案として上程された後、提案理由の説明があります。

3月5日 委員会付託

上程された議案は、分野ごとに5つの常任委員会において審査することを本会議で議長が決定します。このことを委員会に「付託する」といいます。

3月11～14日 各常任委員会で審査

5つの常任委員会において、それぞれ付託された議案に対する審査が行われ、採決します。

3月19日(閉会日) 常任委員長審査結果報告・採決

各常任委員会での審査結果について、それぞれの常任委員長が本会議で報告を行い、その後、採決が行われ、可決されることで、新年度の予算が成立します。

主な知事提出議案

- 令和7年度宮崎県一般会計予算
- 令和6年度宮崎県一般会計補正予算(第9号)
- 使用料及び手数料徴収条例の一部を改正する条例
- 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例
- 副知事の選任の同意について
- 教育長の任命の同意について

2月定例会の結果については、次回6月号に掲載します。

2月定例会は、2月20日から3月19日までの28日間にわたって開催され、会派を代表して4名の議員が代表質問を、11名の議員が一般質問を行い、3つの日本一挑戦プロジェクトの取組や、日向灘を震源とする地震を受けての防災・減災対策、物価高騰対策、地方創生についてなど、県政全般にわたって活発な議論が交わされました。

また、知事より、「みやざきの」真価「実感予算」として編成した総額6,679億5,900万円の「令和7年度宮崎県一般会計予算」をはじめ、106件の議案が提案され、各常任委員会で付託された議案の審査が行われました。

3月10日には、「副知事の選任の同意について」及び「教育長の任命の同意について」の議案が追加提出されました。

閉会日には、各常任委員長からの審査結果報告に加え、県政の重要課題について一年間にわたる調査を行った3つの特別委員会から、県当局に対し提案や要望(4ページ参照)がなされました。

2月定例会の概要

代表質問

各議員の主な質問と答弁の要旨を紹介します。
代表質問の様子は、県議会ホームページの議会中継
(録画)でご覧いただけます。



とやま まちる
外山 衛
議員
宮崎県議会自由民主党
日南市選出

総合計画アクションプランの今後の取組について

問 アクションプランの折り返しに当たり、目標達成に向けてどのように取り組むのか。

答 知事 少子化・人口減少は一層加速しており、改めて強い危機感を持って施策の強化を図ることが急務である。来年度は、重点施策の推進方針に基づき、日本一挑戦プロジェクトを着実に推進するとともに、安全・安心な暮らしの確保にも一層注力する。プランの目標達成を目指して全庁を挙げて取り組み、持続可能で未来に希望を持てる宮崎づくりに邁進する。



やました ことぶき
山下 寿
議員
宮崎県議会自由民主党
児湯郡選出

知事の政治姿勢について

問 4期目の折り返しを迎えた所感と、残りの任期における取組姿勢について伺いたい。

答 知事 物価高騰等により深刻な影響を受けた県民の暮らしや地域経済の早期回復を図り、本県を再び成長軌道に乗せることが、自身に課せられた使命として取り組んできた。本県の飛躍に繋がる成果が表れ、県政の着実な前進に確かな手応えを感じている。今後も、「現場主義」と「対話と協働」の基本姿勢の下、県民と一緒に困難な課題にも真正面から向き合い、宮崎の輝かしい未来に向け、更なる県勢発展に邁進したい。



いむら みつ お
今村 光雄
議員
公明党宮崎県議団
都城市選出

高齢者施策について

問 団塊の世代が75歳以上となる2025年を迎え、今後、地域包括ケアシステムをどのように推進していくのか。

答 知事 今後、単身高齢者世帯や夫婦のみの高齢者世帯の増加が見込まれ、支援のニーズが多様化・複雑化するものと考えている。県としては、高齢者が住民主体の生活支援の担い手として活躍できるような環境づくりや、地域で助け合いができる交流の場づくり等、支えあいながら暮らしていける地域包括ケアシステムの深化・推進を図っていく。



ながやま としろう
永山 敏郎
議員
県民連合立憲
都城市選出

JR九州による列車のワンマン化について

問 JR九州による列車のワンマン化に関し、懸念される影響や利用者等の声、また、それらに対する県の対応について伺いたい。

答 知事 県はこれまで、災害時の避難誘導を心配する声や、障がい者や高齢者からの不安の声に対応するため、ワンマン化を進めるJR九州に安全・安心への配慮を要望してきたが、先日行った要望ではこの点を特に強く求めた。県としては、同社の安全対策強化の取組を注視するとともに、引き続き利用者の安全・安心の確保を同社に求めている。

一般質問

各議員の主な質問と答弁の要旨を紹介します。
一般質問の様子は、県議会ホームページの議会中継
(録画)でご覧いただけます。



やまうち かなこ
山内佳菜子
議員
県民連合立憲
宮崎市選出

お母さんの命を守る「産後ケア」について

問 お母さんと赤ちゃんが助産所などに泊まって必要なケアや授乳指導などを受ける「産後ケア(宿泊型)」事業を実施している市町村数と、未実施の場合はその理由を伺いたい。

答 福祉保健部長 15市町村で実施している。未実施の主な理由は、委託先となる医療機関や助産所が近隣にないことから、市町村単独での委託先の確保に苦慮している、との意見を伺っている。



まつもと てつや
松本 哲也
議員
県民連合立憲
延岡市選出

介護保険について

問 令和6年度報酬改定の影響により、訪問介護事業所の経営は厳しいと考えるが、県内の訪問介護事業所の廃止の状況と県の取組について伺いたい。

答 福祉保健部長 廃止件数と新規開業は同数程度である。これまで処遇改善加算の取得促進や介護職員研修などの支援を実施。来年度から訪問介護等の人材確保や経営改善に取り組むとともに、国に対し、適切な介護報酬の設定を要望していく。



やました ひろみ
山下 博三
議員
宮崎県議会自由民主党
都城市選出

国・自衛隊の動き等の県民への情報提供について

問 国・自衛隊の動きや先島諸島からの避難受入計画策定等の取組について、できるだけ県民へ情報提供すべきと考えるが、所見を伺う。

答 知事 自衛隊の訓練等、国から説明を受けた際は、国に早期の情報提供や関係市町村等への丁寧な説明を行うよう申し入れている。避難住民受入計画については、国との調整が整い次第、ホームページで公表する。今後とも県の取組については、適切な情報提供に努めていく。



ごとう てつろう
後藤 哲朗
議員
宮崎県議会自由民主党
延岡市選出

知事の政治姿勢について

問 厳しい状況にある県内中小企業・小規模事業者の振興にどのように取り組んでいくのか伺いたい。

答 知事 みやざき産業振興戦略等に基づき、産業の高付加価値化等による競争力の強化、多様な産業人材の育成・確保など、様々な施策を展開しており、今後、プレミアム付商品券等の発行による消費需要の喚起や、企業の「稼ぐ力」の強化に取り組むこととしている。



さかもと やすひろ
坂本 康郎
議員
公明党宮崎県議団
宮崎市選出

「戦後80年 平和祈念事業」について

問 平和の尊さを次の世代へ継承するためにどう取り組んでいくのか。

答 福祉保健部長 ホームページ「宮崎の戦争記録継承館」をリニューアルするほか、8月に県立図書館にて、戦争に関する資料の展示や朗読劇の上演等を行う。また平和祈念資料展示室の資料の一部をセットにして市町村や学校に貸出し、県民が平和について考える機会を提供していく。



うちだ りさ
内田 理佐
議員
宮崎県議会自由民主党
延岡市選出

県立延岡病院における危機管理科の設置について

問 県立延岡病院に危機管理科の設置を要望するが、病院局長の所見を伺いたい。

答 病院局長 延岡病院においても、県の体制にに応じて、災害対策本部などの組織を迅速に立ち上げ、DMATを中心に対応している。また、毎年独自の訓練も実施し、県や市町村、関係機関との連携を強化している。今後とも、関係機関との訓練等を通じ、「顔の見える関係」を構築し、災害医療体制の更なる充実につなげていく。



ほんだ としひろ
本田 利弘
議員
宮崎県議会自由民主党
宮崎市選出

スポーツ振興について

問 宮崎県市町村対抗駅伝の意義について教育長の見解を伺いたい。

答 教育長 小学生から50歳以上の幅広い世代の男女が、代表としての誇りや、ふるさとを愛する気持ちを胸に、県都を疾走する宮崎ならではの大会であると認識している。世代を超えたリレーが、ふるさとへの愛着と誇りを育み、地域社会や産業を支え、貢献しようとする心の教育にもつながる子どもたちへの教育効果も大きい大会だと捉えている。



わたなべ まさたけ
渡辺 正剛
議員
宮崎県議会自由民主党
東諸県郡選出

災害時における公営住宅の活用について

問 災害時における被災者の避難先の一つとして、公営住宅を活用できるのか伺いたい。

答 県土整備部長 公営住宅の一時的活用は可能であり、昨年8月の宮崎市の竜巻被害では、県営住宅に被災者を受け入れた。県では、災害時における公営住宅の活用について、提供可能な公営住宅の情報を市町村と共有するとともに、被災者受入れの手続等を県民に広く認識していただくため、情報発信に努めている。



すし ひろあき
図師 博規
議員
無所属の会 チームひむか
児湯郡選出

県立高校のバリアフリー化推進について

問 県立高校におけるエレベーター・多目的トイレ等の整備状況と整備されるまでの対応について伺う。

答 教育長 県立高校37校のうち11校にエレベーターを設置しており、多目的トイレは各校1か所以上設置している。階段移動が困難な生徒の入学が見込まれる場合は検討を行い、エレベーターが設置されるまでの期間は、介助を行う生活支援員がサポートする等の対応を行っている。



さいとう りょうそう
齊藤 了介
議員
宮崎県議会自由民主党
宮崎市選出

教育について

問 民間教育団体「TOSS」のセミナーで、教師が学び合う姿に感銘を受けた。本県の教師の授業力を向上させるために教師はどうあるべきか、教育長の考えを伺いたい。

答 教育長 子供たちは自分で気付いていない可能性を持っており、子供の可能性を引き出す授業にこそ授業力はある。先輩、同僚と議論を交わしたり、質の高い研修や他校の実践から学んだり、主体的に学び続けることによってのみ身に付くものだと考える。



ひだか ひろあき
日高 博之
議員
宮崎県議会自由民主党
日向市選出

保育士確保の取組について

問 保育士修学資金の貸付要件緩和の検討状況について伺いたい。

答 福祉保健部長 貸付要件について他県の状況や緩和した場合の効果を検証した結果、貸付基準となる世帯収入等を、来年度から日本学生支援機構が実施する第二種奨学金の水準に引き下げることとした。この緩和により、今年度申請者ベースで約2割に当たる30人程度が新たに対象となるものと見込んでいる。

「代表質問・一般質問」の模様をサクッと動画で視聴!

議員が県政全般にわたり、事務の執行状況や将来の計画などについて質問し、活発な議論が行われています。

本紙に掲載した代表質問・一般質問については、動画配信サイトYouTubeでも2分程度の動画で公開しておりますので、ぜひご覧ください。



▲宮崎県議会
公式ちゃんねる

県議会をもっと身近に感じてみませんか?

■県議会の本会議・委員会を傍聴することができます。

本会議の傍聴(県議会事務局 総務課 TEL.0985-26-7215)

本会議を傍聴するには、傍聴券が必要です。傍聴券は、本会議の当日午前9時30分から、県庁2号館入口の傍聴受付で先着60名に交付することとしています。なお、午前9時30分までに上限数を超えている場合は、抽選となります。また、傍聴控室でのモニター視聴も可能です。

委員会の傍聴(常任委員会:議事課 TEL.0985-26-7216 / 特別委員会:政策調査課 TEL.0985-26-7217)

委員長の許可を得ることで傍聴することができます。定員は各委員会とも10名です。委員会の当日午前9時30分から、議会棟2階正面玄関の議会受付でお申し込みください。

■県政に対する要望や意見を提出することができます。(議事課 TEL:0985-26-7216)

県民の皆様の県政に対する要望や意見を請願として県議会に提出することができます(請願には、1人以上の紹介議員の署名または記名押印が必要です)。採択された請願は、県の行政に取り入れられるよう知事に送付したり、国に対して意見書の提出を行います。

特別委員会

特別委員会では、県政の重要課題について、県当局や関係団体等との意見交換や現地調査等、様々な活動を1年間実施しました。その調査結果を踏まえ、県当局に対し次のとおり提言や要望を行いました。



詳細はこちら

地域活性化対策特別委員会

- 調査事項** ①子ども・子育て支援に関すること ②教育施策に関すること ③移住・定住促進に関すること
④中小企業等振興支援・働き方に関すること ⑤地域公共交通に関すること ⑥地域医療に関すること

主な提言・要望

- 「日本一生子育てやすい県」の目標達成のため、社会動態の改善、結婚支援・子育て支援の強化、高い出生率の維持・強化の施策を組み合わせ、効果的な施策を展開すること
- 近年の女性就業状況の変化を踏まえ、これまでとは違った視点で世代別の就業状況やニーズ、企業の取組等を把握・分析し、必要な施策を展開すること
- 周産期医療体制の充実やオンライン診療等によるへき地医療提供体制充実について、県がよりリーダーシップを持って取り組んでいくこと

防災減災・県土強靱化対策特別委員会

- 調査事項** ①南海トラフ巨大地震に関すること ②台風等の大規模自然災害に関すること
③防災に関する体制づくり・人材の育成等に関すること ④災害復旧・復興に関すること
⑤災害に強い県土づくりに関すること

主な提言・要望

- 大規模自然災害の発生直後の道路規制の在り方は、県民の生命を守るために重要であり、全国の事例を調査するなど継続的に検討すること
- 未開通区間の早期完成はもとより、東九州自動車道の4車線化工事について、災害時の対応力の強化を図るため、できる限り早期完成を目指すこと
- 流域全体で流域治水施策への理解と合意形成を促進するとともに、損害があった場合の上流域の住民への各種支援に取り組むこと

カーボンニュートラル推進対策特別委員会

- 調査事項** ①循環型農林水産業の推進に関すること ②カーボンニュートラルに関すること
③再生可能エネルギーに関すること ④省エネルギー・省資源の推進に関すること
⑤地球温暖化による環境変化への対応策に関すること ⑥林道等の環境整備に関すること

主な提言・要望

- カーボンニュートラルの自分事化を促すために、取り組むべき必要性を示し、温室効果ガス排出削減の取組効果を分かりやすく情報提供すること
- 新たな担い手を確保するために、林業作業員の処遇を改善し、労働力の定着に向けた取組を推進していくこと
- 省エネルギーを一層推進させるため、省エネルギー設備による経済効果等の情報を発信するなど、導入支援策のさらなる拡充に取り組むこと

県議会議員講座を実施しました

県立都城商業高等学校

実施日：令和6年12月12日

講師：本田利弘議員、松本哲也議員

講座では、県議会についての説明や議員活動の話のほか、生徒からの「若者の投票率向上」や「被選挙権の年齢」等の質問にお答えしました。

生徒からは、「私も投票権があるので、投票をする機会があれば、ぜひ行ってみたい」等の声をいただきました。



県立都城農業高等学校

実施日：令和6年12月17日

講師：下沖篤史議員、脇谷のりこ議員

講座では、県議会についての説明や議員活動の話のほか、生徒からの「若者の投票率向上」や「議員のやりがい」等の質問にお答えしました。

生徒からは、「私達若者が選挙に積極的に足を運ぶことが大事だとわかりました」等の声をいただきました。



県立みやざき中央支援学校

実施日：令和7年2月6日

講師：渡辺正剛議員、図師博規議員

講座では、県議会についての説明や議員活動のほか、支援学校の皆さんにとって大切なテーマである「働くこと」についてお話ししました。

生徒からは、「これから社会人になるので、今日学んだことをいかしたいと思います」等の声をいただきました。



令和7年度の県議会の予定

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
● 4月臨時会	● 常任委員会(閉会中)	● 特別委員会(閉会中)	● 6月定例会	● 常任委員会(閉会中)	● 特別委員会(閉会中)	● 9月定例会	● 常任委員会(閉会中)	● 特別委員会(閉会中)	● 11月定例会	● 常任委員会(閉会中)	● 特別委員会(閉会中)	● 2月定例会



▲宮崎県議会 ホームページ



▲宮崎県議会 公式ちゃんねる



▲宮崎県議会 公式facebook